

厚生労働省(原子力安全委員会) 指標値(暫定規制値)

別添

○飲食物摂取制限に関する指標

核種	原子力施設等の防災対策に係る指針における 摂取制限に関する指標値 (Bq/kg)	
放射性ヨウ素 (混合核種の代表核種： ¹³¹ I)	飲料水	300
	牛乳・乳製品 注)	
	野菜類 (根菜、芋類を除く。)	2,000
放射性セシウム	飲料水	200
	牛乳・乳製品	
	野菜類	500
	穀類	
	肉・卵・魚・その他	
ウラン	乳幼児用食品	20
	飲料水	
	牛乳・乳製品	
	野菜類	100
	穀類	
	肉・卵・魚・その他	
プルトニウム及び超ウラン元素 のアルファ核種 (²³⁸ Pu, ²³⁹ Pu, ²⁴⁰ Pu, ²⁴² Pu, ²⁴¹ Am, ²⁴² Cm, ²⁴³ Cm, ²⁴⁴ Cm 放射能濃度の 合計)	乳幼児用食品	1
	飲料水	
	牛乳・乳製品	
	野菜類	10
	穀物	
	肉・卵・魚・その他	

厚生労働省、3/17

注) 100 Bq/kg を超えるものは、乳児用調製粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導すること。

野菜等の汚染

番号	品目	採取日	採取場所	放射能測定所要結果、μSv/L/㎏			
				放射性ヨウ素131	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
1	牛乳	3/23 静岡県		8	不検出	不検出	不検出
2	水道水	3/29 千葉県		2	不検出	不検出	不検出
3	小松菜	4/3 茨城県		200	89	170	200
4	きゅうり	4/3 福島県		8	不検出	6	6
5	ニラ	4/3 福島県		230	22	39	61
6	レタス	4/4 茨城県		26	5	9	14
7	ほうれんそう	4/6 埼玉県		130	45	68	110
8	ほうろび	4/6 福島県		33	15	22	37
9	葉ネギ	4/9 茨城県		70	不検出	不検出	不検出
10	きゅうり	4/9 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
11	小松菜	4/9 茨城県		120	59	140	200
12	かき	4/10 群馬県		10	22	31	53
13	ほうれんそう	4/10 群馬県		15	6	10	16
14	ほうろび	4/10 茨城県		86	38	45	83
15	かぶ	4/10 茨城県		33	3	6	8
16	ほうれんそう	4/10 茨城県		180	83	130	210
17	ピーナス	4/15 茨城県		38	45	49	94
18	豚乳	4/16 栃木県		5	不検出	不検出	不検出
19	ほうれんそう	4/16 群馬県		6	20	18	38
20	きゅうり	4/17 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
21	レタス	4/17 茨城県		12	7	18	25
22	鶏卵	4/18 千葉県		2	不検出	不検出	不検出
23	ほうれんそう	4/18 茨城県		73	27	30	55
24	ほうれんそう	4/18 茨城県		64	37	90	130
25	ほうれんそう	4/18 千葉県		12	不検出	不検出	不検出
26	ほうれんそう	4/18 茨城県		65	56	110	170
27	大根	4/18 茨城県		7	16	38	54
28	静岡県産ひきき	4/22 千葉県		不検出	不検出	不検出	不検出
29	きゅうり	4/23 福島県		不検出	不検出	7	不検出
30	トマト	4/23 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
31	水蓮	4/23 茨城県		9	5	7	12
32	白茎	4/24 茨城県		不検出	4	5	9
33	ワケギ	4/26 千葉県		不検出	不検出	不検出	不検出
34	結球やえんどう	4/26 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
35	生しらす	4/28 神奈川県		不検出	不検出	不検出	不検出
36	らす干し	4/28 神奈川県		不検出	不検出	不検出	不検出
37	大根	4/28 茨城県		3	4	8	12
38	さあぢ	4/27 静岡県		不検出	不検出	不検出	不検出
39	きゅうり	4/30 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
40	ミニトマト	4/30 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
41	トマト	4/30 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
42	かぶ	4/30 茨城県		不検出	12	12	24
43	鶏卵	4/30 茨城県		不検出	不検出	不検出	不検出
44	キヤベツ	4/30 茨城県		不検出	8	12	20
45	結球やえんどう	4/30 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
46	野かんそう	5/4 千葉県		不検出	不検出	不検出	不検出
47	生しいたけ	5/5 千葉県		不検出	不検出	2	2
48	きゅうり	5/7 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
49	エンペロク	5/7 茨城県		4	5	14	19
50	かぶ	5/7 福島県		不検出	6	6	12
51	かぶ	5/7 茨城県		不検出	不検出	13	25
52	水蓮	5/7 茨城県		不検出	12	不検出	不検出
53	ミニトマト	5/8 福島県		不検出	不検出	不検出	不検出
■出荷制限した品目							
54	かぶ	3/18 福島県		5800	5100	6700	12000
55	ほうれんそう	3/18 茨城県		4200	160	330	490
56	ほうれんそう	3/19 群馬県		650	33	90	120

海外の基準

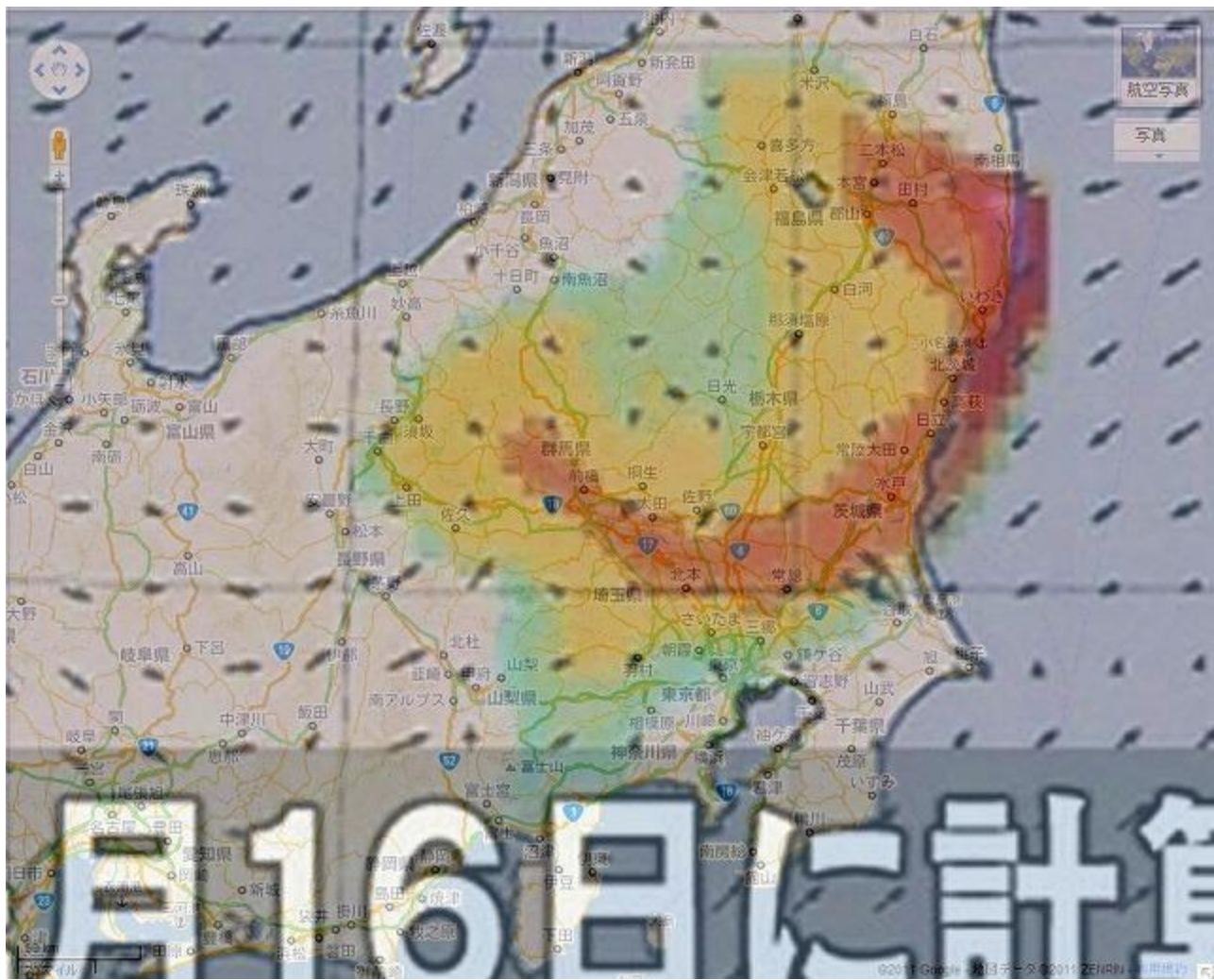
ドイツ放射線防護協会「日本における放射線リスク最小化のための提言」では:

乳幼児、こども、青少年の場合は

セシウム137、**4Bq/kg以下**

成人、**8Bq/kg以下**

日本の暫定規制値は「野菜類、穀類、肉・魚・卵・その他(放射性セシウム)500Bq/kg以下」



食品流通の問題

- 危険がないにも関わらず誰も買わない
風評被害
- 危険があるから誰も買いたくない
当然の消費行動

安易な線引きや風評被害論は避けるべき。
充分で公正な調査と情報提供が必要。

母乳調査・母子支援ネットワーク: <http://bonyuutyousa.net/>

チェルノブイリの教訓から学ぶ

- 生産者補償を前倒しで行うことによって危険な食品の流通に歯止めをかける
- 汚染度の低い地方では増産する
- 危険度の高い食品や水は長期間の健康被害を生む。
- 産地別の計測が秋田を風評被害から守る

だんだん明らかにになる 「計画停電」のウソ

- 前年事故隠しが発覚、2003年東電は原発をすべて停止、電力供給に影響なし
- 原発の実績をあげるため休ませる発電所に十分な余力がある
- 一昨日の東京新聞が告発記事
- 一般企業の自家発電能力は6000万kW

日本経済新聞電子版、5/15

原発を守るためのウソはもう通じない

東京新聞 5/17

こちら特報部



「電力不足キャンペーン」にモノ申す

よぎる計画停電… 狙いは原発存続?

電力不足の懸念が、電力会社と経産省の間で高まっている。計画停電の再開が、電力会社の利益を守るための手段と見られる。また、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。

電力会社は、電力不足の解消のために、計画停電の再開を主張している。一方、経産省は、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。また、電力不足の解消には、電力会社の利益を守るための手段と見られる。

「電力会社と経産省 グルに」

電力会社と経産省の間で、電力不足の解消に関する協議が進んでいる。電力会社は、電力不足の解消のために、計画停電の再開を主張している。一方、経産省は、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。

こちら特

「電力不足キャンペーン」にモノ申す

東電また「情報操作」

広野火力復旧へ夏もOK

電力不足の懸念が、電力会社と経産省の間で高まっている。計画停電の再開が、電力会社の利益を守るための手段と見られる。また、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。



電力不足の懸念が、電力会社と経産省の間で高まっている。計画停電の再開が、電力会社の利益を守るための手段と見られる。また、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。

供給上積み隠し 危機あおる

電力不足の懸念が、電力会社と経産省の間で高まっている。計画停電の再開が、電力会社の利益を守るための手段と見られる。また、電力不足の解消には、原発の稼働が不可欠とされている。